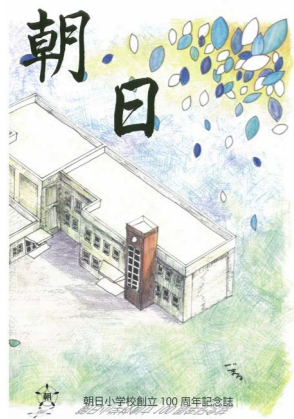




百キロ百人駅伝完走後の記念写真（9月16日：朝日小学校にて）



**朝日小学校 創立100周年記念誌**

座談会でも話題に上がりましたが、11月28日に開かれた記念式典に合わせて、100周年記念誌が発刊されました。

記念誌は、朝日小卒業生による表紙絵と題字に始まり、学校の沿革、歴代PTA会長肖像、学校長肖像、卒業生による座談会、現在の学校の様子や一年間の歩み、子どもたちの作品や数々の写真など盛りだくさんの内容となっております。

記念誌は、朝日小学校、レ・コード館図書プラザ、新冠町郷土資料館に配架しておりますので、お時間のある時に一読いただければと思います。

また、100周年記念誌の基礎となりました「朝日小学校新校舎落成・開校70周年記念誌」も各施設に配架しておりますので、30年間の小学校の変化を見比べてみてください。

**新冠町立朝日小学校 盛永明寿校長より**

創立100周年という記念すべき年を、地域・保護者の皆様ならびに教育関係者の皆様、さらには卒業生の皆さんや在校生と共に無事迎えることができましたことに、心からの喜びを感じています。

この100周年を迎えるにあたり、記念協賛会を設立し、様々な活動を進めて参りました。そうした中で、たくさんの方々のご理解とご協力、そしてご賛同を賜り、多くの励ましのお言葉やご芳志をお寄せいただきました。本校に対する皆様方の想いと期待の大きさというものを肌で感じさせていた、だく一年となりました。本当に感謝の念にたえません。

本校は、大正5年、浜口甚四郎氏を中心とする地域の方々の熱い想いに支えられ、幾多の困難を乗り越え、特別教授場として創立に至りました。

その後、平成20年には、明和小、若園小、太陽小、美宇小、東川小という近隣5校と統合し、それぞれの学校の「良さ」を受け継ぎながら、現在の「朝日」ならではの教育の姿を築き上げてきました。数々の「伝統」と誇れる「良さ・スピリット」が多くの卒業生たちに受け継がれ、ついに今年、創立100周年を迎えることができました。統合していただいた5つの学校の関係者や地域の皆様方、さらには、

これまで朝日小学校を支えていただいたすべての皆様方のご労苦とご尽力に本当に心からの敬意と感謝の意を表します。加えて、これから生きる朝日小学校の子どもたちの未来のために、より一層の変わらぬご支援・ご協力をいただければ幸いです。そのため強く心に思う所です。

この100周年を一つのステップとして、朝日小学校は、新たな一歩を踏み出します。「伝統」と「良さ」を守り育て継承していくと同時に、次の新たな時代に向けて、世界を見つめ、未来の新冠・日高を支える多くの人材を育てられるような教育を目指し、地域に立脚した新たな教育の形を構築しているところです。「朝日」ならではの、「朝日にしかできない」未来の教育の礎をしっかりと築いていきたいと思います。

最後になりますが、この「100周年」に関わっていただいたすべての方々から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



100周年記念式典で挨拶する盛永校長

分かれて資料集めをしました。そして、その資料を担当者が一冊にまとめてくれました。まとめる作業は本当に大変だったと思います。最後まで根気よく作ってもらったことで素晴らしい記念誌ができたと思います。

**百周年記念事業を終えて思うこと**

**小守** 最初はたくさんの方が集まって一つのものを作るということは難しいのではないかと思います。運動会にしても、駅伝にしても、色々な職種の方が地域を超えて集まり、協力できるということがすごいと思えました。

**青木** 私が感じたのは、これはこの人がやる、この人ならこれができるといって、お互いをよく知って役割分担ができていって感じました。そして、みんなが集まると何でもできることがすごいですね。

**濱口** 70周年記念誌を制作した人に当時の様子を聞いてみたら、色々大変なことがあったという話でしたが、今回はお互いが協力して、スムーズに進められた感じがします。

**佐々木** 地域の事情をよく理解している「核」になる人がいるということが良かったと思います。地域とちゃんと繋がっている人がいるというのは大事なことです。あと、私は、太陽小学校が閉校になってから、このような形で学校と

関わることはもう無いと思っていました。それが、百周年事業を通してこの様な形で参加させてもらい、大変なこともありましたが良い機会になりました。

**小守**

自分も職場が浦河ということもあり、これまでには地域の人たちとあまり接点がありませんでした。実行委員も、最初は名前だけのつもりでしたが、徐々に役割が増え、子どもが生まれたばかりだったり、仕事の調整も大変でしたが、このように地域の人と新しい繋がりができたことはありがたいです。

**青木** 私は以前から、自分の子どもたちは朝日小学校で卒業させたいという思いがあり、転勤の話もありましたが、ここに残れるようにお願いしてきました。

そして、今回、一連の事業を通して、改めて朝日小学校の魅力を再認識することができました。

実行委員会が立ち上がった当初、どのようにして話を進めていくのかと心配もありましたが、色々な人から、たくさんアイディアが出てきて、それがどんどん実現していくのを見てここには素晴らしい人たちがいると実感しました。

**遠藤** 協賛会として、この様に進めてくれたのは、本当に実行委員の皆さんのおかげです。自分は皆さんにおんぶにだっこという状況でした。例えば、寄付をもらうにしても、

顔見知りではない牧場や企業があったときに、会員の人が声をかけてくれたことでスムーズに声掛けをすることができました。

**青木**

寄付も含め、地域の方々や自治会、企業からこの様にたくさん協力いただいたこともありがたいです。この寄付があったから子どもたちのTシャツとかを作れることもできたし、色々な事業を通して地域にも還元することができたと思います。

**遠藤** 本場に、そう考えると寄付金一つとっても、当初の予想以上に協力をいただいたし、駅伝も想像以上の素晴らしい記念事業になりました。

そして、運動会も記念式典も記念誌も、全てが当初見込みよりスケールアップして、より良い形で終えることができたのが嬉しいですね。

**青木** やってみようと言って、本当にできてしまうところが、朝日のすごいところですね。

「やればできる」ということが、子どもたちにも響いていくと良いと思うし、大人たちは「やりたい」という子どもたちをきちんとサポートしてあげられる環境がここにはあると思います。

「できないかな？」と考えるのではなく、まず、「やってみる」ことが大事だということを事業を通して学ぶことができました。・・・おわり（平成28年2月29日 朝日小学校図書室にて）

